



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

聖書の言葉

「ノアは神に従う無垢な人であった。ノアは神と共に歩んだ」

聖書(創世記6章9節)

牧師 河合裕志

聖書によれば「初めに神は天地を創造された」、そして「神は御自分にかたどって人を創造された」。「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった」(以上創世記1章)。

ところでここに残念なことが起った。アダムと妻エバが禁断の木の実を取って口にし、神の戒めを破った。結果エデンの園を追放されることに。やがて二人の間にカインとアベルが生まれるが、更に残念なことが起った。カインが弟アベルを野原に誘い出し、これを襲って殺したのだ。

こうして人類はカインの末裔(子孫)として地に広まって行く。この時、「主(神)は、地上に人の悪が増し、常に悪いことばかりを心に思い計っているのを御覧になって、地上に人を造ったことを後悔し、心を痛められた」(6章5~6節)。神の後悔、神の心痛、そんなことってある? 私達人間であればそれはある。あの時、あんなことを言わなければよかったなあ。あの時、こんなことをしなければよかったなあ。と言って悔やむ、心を痛める。しかしここでは神がそうしてる。何をそんなに。人を造ったことで。人が期待に反して悪に走ったことで。

そこで神はどうしたか。「これを地上からぬぐい去ろう。人だけでなく、家畜も這う

ものも空の鳥も」。その手段は地上に洪水を起すことだった。

ただそうした中、神は一人の人間に注目。「その世代の中で、ノアは神に従う無垢な人であった」。無垢(タミーム)な人とは「純な人」ということ。それは要するに神の戒めに従い、神を礼拝し人を愛する人のこと。これが神のおめがねに合った。そこで神はどうした。長さ300アンマ(約135m)、3階建の巨大な箱舟を造らせた。そしてそこに三人の息子達と嫁達、動物の雌雄を乗り込ませ、彼らを生き延びるようにさせる。そしてやがて大雨が降り続き大洪水が起ることに。

これは昔々のお話だけれど現代人に何かを物語っているのでは。①やはり悪を離れなさいよ、ということだろう。神は今日も人間の行状を見て心を痛めているかもしれない。②ノアのように生きなさいよ、ということ。彼の生き様は私達人間のモデル。神に従い人への愛をもって生きられれば。③神の人類愛を覚えよということかも。神は絶滅を避け、ノアとその子孫を存続させることに。最後には御子キリストを十字架につけて人類に罪の赦しと永遠の命をもたらしてくれた。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び折る会：水曜日午前10時

牧師面談：水曜日午後1時~7時